

市政功労者を表彰

市政の発展に顕著な功績のあった方々に対し、表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえる「平成27年度 狭山市市政功労者表彰式」が11月6日(金)に挙行されました。受賞おめでとうございます。

市政功労者

※敬称略・順不同で()内は表彰の対象となった主な職です

特別功労表彰

市議会議員など16年以上の方
 ▼仲川幸成(市長) ▼栗原武(市議会議員)
 ▼東山徹(同) ▼猪股嘉直(同) ▼高橋ブラクソン久美子

一般功労表彰

市議会議員8年以上の方、行政委員8年以上の方、自治協力員など12年以上の方
 ▼新良守克(市議会議員) ▼加賀谷勉(同) ▼齋藤誠(同) ▼町田昌弘(同) ▼田嶋茂(固定資産評価審

査委員会委員) ▼土器蘭進(自治協力員) ▼久米田哲(地域包括支援センター運営協議会並びに地域密着型サービス運営委員会)

▼遠藤一博(介護認定審査会委員) ▼水野晴夫(同)

○社会福祉功労

保護司12年以上の方
 ▼浅見幸子(保護司) ▼野々宮達

○保健衛生功労

市立学校歯科医12年以上の方
 ▼馬島宏(市立学校歯科医)

消防功労

消防分団長で消防団員として在職15年以上の方、消防団員として在職20年以上の方、消防に功労のあった方

▼岩澤哲也(消防団第2分団分団長) ▼高屋敷勇樹(同第5分団分団長) ▼松井栄治(同第5分団副分団長) ▼鈴木健彦(同第2分団分団員) ▼青木由保(同第5分団分団員) ▼伊藤金一郎(防火安全協会理事)

感謝状

○多大な寄附をされた方

▼一般社団法人東京ゴルフ倶楽部
 ▼狭山グリーンライオンズクラブ
 ▼自然を守る狭山リサイクルの会

問合せ秘書課へ内線5052



▲特別功労の受賞者



▲一般功労の受賞者



▲感謝状の受賞者

埼玉県知事表彰

11月14日(県民の日)に、次の皆さんが埼玉県知事表彰を受賞されました。おめでとうございます。

原田計江氏(統計調査員)



長年にわたり、統計調査員として各種統計調査に従事し、統計業務の円滑な実施に尽力されました。その誠実な対応から信頼も厚く、他の調査員に対してもさまざまなアドバイスを行うなど、調査員の模範として、統計行政の発展に貢献されました。

遠藤公平氏(市学校医)



長年にわたり、市学校医として、学校保健の充実に尽力されるとともに、保健衛生の向上に貢献されました。この間、健康診断や保健指導を通じて児童・生徒の健康管理に尽力されたほか、昭和38年8月に開業して以来、地域住民の健康維持・増進のため献身的な診療に取り組まれ、地域医療の充実に発展に努められました。

問合せ秘書課へ内線5054



これが狭山自慢の里芋です

市長の主な動き

○11/1…さやま大茶会 ○11/6…市政功労者表彰式 ○11/10…青少年健全育成「地域の集い」 ○11/11…県知事とことん訪問・災害対策本部訓練 ○11/18…まち・ひと・しごと創生有識者会議 ○11/20…入間郡市人権フェスティバル ○11/23…キッズタウンミーティングさやま ○11/25…冬の交通事故防止運動出陣式 ○11/26…市議会第4回定例会 ○11/28…消防団特別点検

まちの今…これから

第4次狭山市総合計画の策定に向けて計画案を諮問

11月18日(水)、狭山市総合計画審議会に、「第4次狭山市総合計画」の諮問書を提出しました。



この諮問書は、平成28年度から37年度までの10年間の市の将来像や、施策の基本的な方向を示す「基本構想(案)」と32年度までの5年間に実施する施策の体系と内容を示す「前期基本計画(案)」です。

これらは、市民3千人を対象とした市民意識調査や、市民66名で構成された総合計画策定市民会議からの提言書などを参考に、さらに素案に対してのパブリックコメントの結果を反映して作成したものです。

今後10年間の狭山市のまちづくりの基本的な指針となる総合計画について、審議をいただきます。

問合せ政策企画課へ内線7132

ONE for All 市長が走る! ④

上田知事を迎えました

「狭山市で、次世代を引っ張る『元気な農業』か『先端産業』を見たい…」これが上田知事からの要望でした。野菜がおいしい季節、特に名産の里芋の収穫期でもあり、私は「元気な農業」に決めました。

市内では、多くの若手農業後継者が頑張っています。11月11日の視察当日、知事には、「さといもコロケの開発」や「入間ごぼうを復活させるプロジェクト」などをご覧いただきました。

これからの農業のキーワードは

「安全安心」と「6次産業化」。生産だけでなく、加工、流通、販売までを見通し、「経営」として考える時代です。狭山市にはこれらを仲間と共に実践する人材があります。

以前、狭山茶には幾度も試練のときがありました。しかし、その度に産地としての誇りを持ち、生産者が力を合わせ、技術と品質の向上を目指してきました。知事は、その狭山茶を召し上がるやいなや「うまい!」と大絶賛されました。

農業のみならず地域や社会にも困難はあるでしょう。しかし、力を合わせれば、必ず明るい未来が待っています。今年もあと少し! 頑張らしましょう!